

気仙沼から嬉しいお便り…英訳してニューオリンズにも送らせていただきました

気仙沼ジュニアジャズオーケストラ「スウィングドルフィンズ」の最年少トランペッター、岩瀬天音さん(写真下)とお母さんの岩瀬紀久子さんから外山夫妻あてにそれぞれ自筆のお手紙を頂きました。

(まずはお母さんから=前と後ろの1部は割愛させて頂きました)

<3月11日の震災で自宅自営の店舗、2店舗、そして私の実家が津波の被害を受け、片付けても、片付けても、片付けが終わらない、これからどうしたら良いのだろうという日々を送っていました。全国からの食物や衣類の支援物資がとてもありがたく、生きているのだから頑張らないと！！と必死で過ごしていました。まだまだ色々な事が混乱している中に、届いた楽器の支援は、今思い出しても夢のような、本当にうれしい出来事でした。そして、学校よりも早くドルフィンズの活動が再びはじまりました。楽器を手にした子供達の笑顔を見て、震災という大変なことが起こったけれど、こんなステキで嬉しい事だってあるんだ、と心の中がパッと明るくなった気がしました。なかなか思うように練習が進まず、どうなるんだろうと

心配した定禅寺ジャズフェスティバル…沢山のお客さんの前で自分たちの出来る限りの演奏をした姿に子供達のパワーを感じ、気仙沼は必ず復興すると勇気を貰いました。私たち家族は外山さんご夫婦のこれま



での活躍、そして楽器をご支援頂いたお陰でこうして、明るい気持ちで新しい一年を迎えることが出来たんだナということをお正月に改めて思いました。お陰様で前向きに一日一日、一步一步進むことができました。

気仙沼、仙台、横浜、イクスピアリ…子供達の演奏のたびに、ステキな演奏で花を添えて下さった事にも感謝しております。娘はいつもどんなアドリブを聞かせて下さるのかと、とても楽しみにしており、「すごいね、すごいね」と憧れております。

四年生の終わり頃から、大きくなったらディズニーのトランペッターになりたいと言っている娘です。昨年一年はますますトランペットが大好きになった一年でもありました。一年を振り返った時、親子共々、支えて頂いたんだナという感謝の気持ちでいっぱいになりましたので、どうしてもその気持ちをお伝えたく、上手に文章になりませんでした、ペンをとらせて頂きました。>

(そして以下、天音さんから=写真左も)

<去年はドルフィンズをいっぱい応援して頂き、どうもありがとうございました。

一緒に演奏する機会がとても多くて嬉しかったです。外山さんはアドリブがとてもかっこよくて、私もあんな風にアドリブが吹けたらなあいつも思っているし、とても尊敬しています。

恵子さんは私達に明るく、そして、やさしく接してくれて、会うのがとても楽しみです。

私はこれからも頑張って練習して、もっと上手に吹けるようになります。お二人共、お体に気をつけて、すてきな演奏をみんなに届けてあげてください。

ドルフィンズ最年少のTP 岩瀬天音より>

